

科目名	インターンシップ							年度	2025
英語表記	Internship							期間	通年
学年・学科	建築設計科 1 年			必／選	必修	時間数	90	単位数	3
担当教員	大澤 公仁				教員の実務経験	あり	実務経験の職種	建築設計	
【科目の目的】 ・職業教育として、建築関連企業の特徴や技術を企業研修を通して学ぶ。									
【科目の概要】 就業体験を通じて建築分野での学びを深化させる機会を得る。 企業での就業体験を通じて実践的な知識や技術、仕事に対する姿勢などを学ぶ。									
【到達目標】 A. 建築実務の現場で行われている専門領域の職務を理解できる。 B. 自己の適性と職業選択の方向性を整合させ、自分の意見をまとめることができる。 C. 実習内容をまとめるだけでなく、相手に対して説明することができる。									
【授業の注意点】 必ず窓口担当教員に申し出ること。事後、もしくはすでにインターンシップ開始後に申し出た場合、単位認定はできない。 参加者は必ずインターン シップ保険に加入のこと。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう			レベル1 要努力		
到達目標 A	建築実務、職務をよく理解している			建築実務、職務を理解している			建築実務、職務を理解していない		
到達目標 B	職業選択の方向性を整合させ、 自分の意見をまとめることができ、 将来性についても考えられている			職業選択の方向性を整合させ、 自分の意見をまとめることができる			職業選択の方向性を整合せず、 自分の意見をまとめられない		
到達目標 C	実習内容をまとめるだけでなく、 相手に対して説明しそれが社会性を帯びている			実習内容をまとめるだけでなく、 相手に対して説明する			実習内容をまとめられない		
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。									

科目名		インターンシップ		年度	2025	
英語表記		Internship		学期	通年	
	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	企業選定	インターンシップ		業界を知り、可能性の範囲を知る		
2	事前準備 1	インターンシップ契約書を企業と取り交わし、 注意点をまとめる。		社会的なルール、マナーを知りインターンシップをイメージする		
3	実践 1	～第 1 5 回 各回の到達目標を実施 (インターンシップ先により内容は異なる		インターンシップにより仕事を知る		
4	報告	中間報告会にて取組内容を確認しあう。(グループごと)		他者や他社のやり方を聞き見聞を広める		
5	実践 2	～第 2 9 回 各回の到達目標を実施 (インターンシップ先により内容は異なる)		会社にて研修を受ける		
6	発表	各自の取り組み成果について発表を行い、達成度を確認する		発表を聞き、これからの進路を考える		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他 自己評価：小テストは点数で記入。 パフォーマンス評価の場合は○、△、×のいずれかを記入する。						
備考等						